

社会資本総合整備計画(第1回変更)

小杉地区都市再生整備計画

平成29年12月15日

富山県射水市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成29年12月15日

計画の名称	小杉地区都市再生整備計画							変更回数	1		重点配分対象の該当																							
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)			交付対象	富山県 射水市																													
計画の目標	<p>射水市は富山県のほぼ中央に位置し、平成17年11月に新湊市と射水郡の全町村（小杉町、大門町、大島、下村）が合併して誕生した市である。当地区はあいの風とやま鉄道線小杉駅を含む中心市街地を成す地区である。平成の大合併で誕生した本市においては、将来にわたり健全な行財政運営を継続していくため、機能的に重複した公共施設の統廃合は喫緊の課題である。そこで、小杉駅から概ね200mの中心市街地に位置する旧射水市社会福祉会館を活用し、他の公共施設を統合・集約、交流機能を強化することにより、コミュニティ活動の拠点をつくる。また、これまで中央図書館や歌の森運動公園の利用者が小杉庁舎を駐車場として相互利用していたが、小杉庁舎が小学校に転用されて駐車場が不足することから、中央図書館や歌の森運動公園内の駐車場を増設し、利用者ニーズに応える。</p> <p>一方、エリア内には旧北陸道があり、沿線は歴史ある家並みが所々に見られ、かつての宿場町としての名残を残す市街地を形成しているが、狭隘道路や歩道段差が多く、高齢者や観光客が利用しにくい状況である。そこで、散策路やベンチを整備し、歴史・文化資源を結ぶ回遊ルートを構築することにより、交流人口の拡大を図るとともに、地域住民が安全・安心で快適に暮らせる居住環境の創出を目指す。</p>																																	
計画の成果目標 (定量的指標)	<p>①公共・公益施設の利用者数の増加 ②小杉地区の人口維持 ③散策エリア内における歴史文化施設利用者数の増加</p>																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H32末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①各種機能を集約した地域交流センターの利用者数の推移で確認する。</td> <td>61,541 (人/年)</td> <td>—</td> <td>73,000 (人/年)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②生活に利用する社会資本を集約・整備したことによる効果を、地区内の人口推移で確認する。</td> <td>8,380 (人)</td> <td>—</td> <td>8,380 (人)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③新たに散策エリアを形成したことによる効果を、主要拠点である竹内源造記念館の利用者数の推移で確認する。</td> <td>6,638 (人/年)</td> <td>—</td> <td>6,640 (人/年)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H32末)	①各種機能を集約した地域交流センターの利用者数の推移で確認する。	61,541 (人/年)	—	73,000 (人/年)		②生活に利用する社会資本を集約・整備したことによる効果を、地区内の人口推移で確認する。	8,380 (人)	—	8,380 (人)		③新たに散策エリアを形成したことによる効果を、主要拠点である竹内源造記念館の利用者数の推移で確認する。	6,638 (人/年)	—	6,640 (人/年)	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H32末)																															
①各種機能を集約した地域交流センターの利用者数の推移で確認する。	61,541 (人/年)	—	73,000 (人/年)																															
②生活に利用する社会資本を集約・整備したことによる効果を、地区内の人口推移で確認する。	8,380 (人)	—	8,380 (人)																															
③新たに散策エリアを形成したことによる効果を、主要拠点である竹内源造記念館の利用者数の推移で確認する。	6,638 (人/年)	—	6,640 (人/年)																															
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	642.5百万円	A	642.5百万円 (うち提案事業分3.0百万円)	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.5%																						
交付対象事業																																		
A 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H28	H29	H30	H31	H32																					
1-A-1	都市再生	一般	射水市	直接	射水市	小杉地区都市再生整備計画	高次都市施設、高質空間形成施設等	射水市						642.5																				
合計												642.5																						
B 関連社会資本整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H28	H29	H30	H31	H32																					
合計												0																						
C 効果促進事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H28	H29	H30	H31	H32																					
合計												0																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H28	H29	H30	H31	H32																					
合計												0																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						

交付金の執行状況

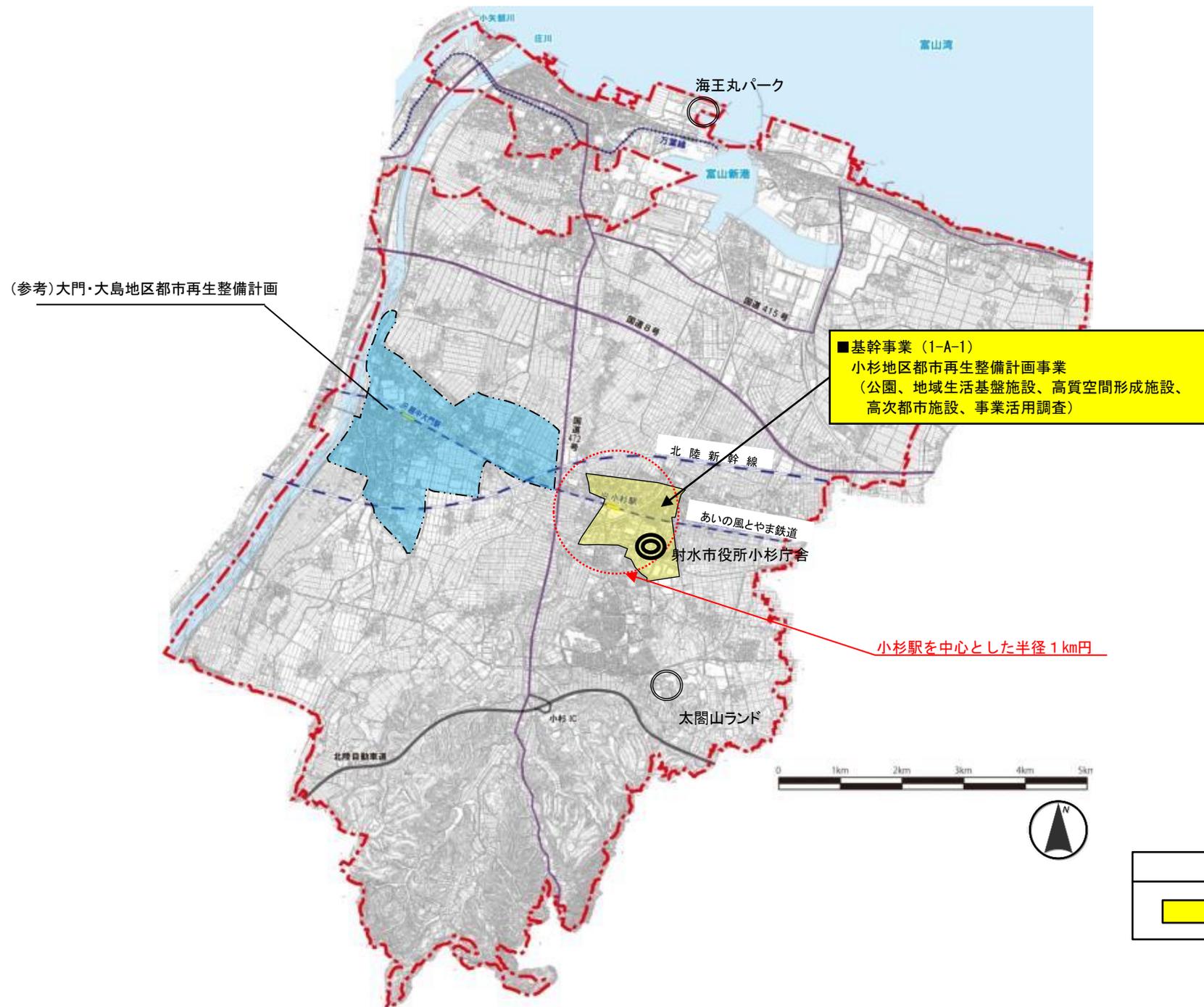
(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	8	19			
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	8	19			
前年度からの繰越額 (d)	0	6			
支払済額 (e)	3				
翌年度繰越額 (f)	6				
うち未契約繰越額 (g)	3				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	36.1%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	隣接者との境界確定に不測の日数が生じたため				

- ※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。
- ※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面)

計画の名称	小杉地区都市再生整備計画	変更回数	1
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度 (5年間)	交付対象	射水市



都市再生整備計画(第1回変更)

こすぎ
小杉地区

とやま いみずし
富山県 射水市

平成29年12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	富山県	市町村名	射水市	地区名	小杉地区	面積	194 ha
計画期間	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度				

目標	
大目標:あいの風とやま鉄道小杉駅周辺におけるコンパクトで魅力あるまちづくりにより、多世代が住み続けられるとともに、地域資源を活かし来訪者を呼び込む	
目標1	(公共施設機能のコンパクト化)あいの風とやま鉄道小杉駅を中心としたエリアに公共・公益施設を集約し、活性化を図る。
目標2	(生活利便性の向上)生活環境の整備によって定住人口を維持する。
目標3	(交流人口の拡大)歴史や文化、自然や景観を生かした散策エリアを形成し、地域資源を情報発信することで交流人口の拡大を図る。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 当地区は旧小杉町の北部に位置し、そのほとんどがあいの風とやま鉄道小杉駅を中心とした半径1km以内の地区となる。旧小杉町は、江戸時代に加賀藩二代藩主前田利長から町立てを許された旧北陸道が通る宿場町が発祥となる。街道沿いの通りには商家が建ち並び、神社や寺院も多く、郡奉行所も立地していたため、宿場町と陣屋町の二重の町並みが形成されていた。また、現在の小杉福祉会館がかつての小杉宿の本陣だった場所となる。近代化によって、建て替えられた建造物も多くあるが、現在でも明治期の商家や酒蔵が残されており、近年、町並修景や通りでのイベント、歴史的建造物の活用など、通りの魅力づくりが進められてきている。
 社会資本の大半は昭和40年代～昭和50年代に建設されたため、施設の使い勝手の悪さが大きな課題であり、公共施設の集約による使い勝手の向上、維持管理費の低減が必要な状況にある。また、地区内の人口は平成24年度8,288人から平成27年度8,380人と維持傾向にあるが、老年人口の割合は平成24年度23.7%から平成27年度26.7%と増加しており、高齢化した住民の生活環境の改善が必要である。
 これまでのまちづくりの課題を踏まえ、対象範囲を駅周辺に絞り、地域資源の活用と生活環境の向上の両面に対してバランスよく事業を実施して都市の再生を目指すとともに、交流人口の拡大によって持続可能でコンパクトな都市形成を図る。

課題
 ①住民の高齢化や施設の老朽化を背景に、公共施設の維持管理・更新費の負担など財政状況の深刻化が進む中で、小杉地区でも特にコンパクトシティを推進することが必要とされている。
 ②新庁舎建設に伴い旧庁舎跡地が他施設へ転用され、これまで相互利用していた周辺公共施設の駐車場に不足が生じる。このことから、不足する施設を早急に整備し、利用者の利便性を確保することが必要とされている。
 ③地区内には旧北陸道が通っており、その周辺には神社や寺院といった歴史・文化資源が多数存在しているが、観光客に対するそれらの知名度は低いままであり、それらの有効活用と交流人口の拡大が課題となっている。また、本地区と「日本のベニス」と称される新湊内川を結ぶ遊覧船の新規事業を含めて、これらの相乗効果を高めることが必要とされる。

将来ビジョン(中長期)
 ●第2次射水市総合計画(平成27年3月)まちづくりの基本方針より
 新湊大橋の開通や北陸新幹線の開業など新たな社会資本の効果を最大限に生かし、魅力的な地域資源を活用した観光振興や商工業の活性化、企業誘致を進め、交流人口の増加を図り、まちのにぎわいを創出します。快適な公共交通の確保や機能的で安全・安心な道路網の整備、空き家対策等を推進し、市民が便利で快適に暮らせる生活基盤の整備を進めます。また、公共施設耐震化や雨水対策など防災基盤の整備や危機管理体制の強化を図るとともに、交通事故や犯罪が起こりにくいまちづくりを進めます。住民ニーズが高度化・多様化する中であって、地域にあったまちづくりを実現するため、市民の参画と協働のまちづくりを促進するとともに、地域活動に学生が参画するための仕組みの構築を図ります。
 ●射水市都市計画マスタープラン(平成22年3月)「小杉周辺地域」まちづくりの基本方針より
 「既存ストックを活かした、コンパクトで賑わいのあるまち」
 ①人々が賑わう、魅力的なまちづくり ②快適にまちなかを散策できるまちづくり ③まとまりのあるコンパクトなまちづくり
 「JR小杉駅北口における市街地再開発、荒町及び駅前商店街の充実、賑わいある商店街の形成」、「旧北陸街道沿いの景観保全」、「既存企業団地の充実と流通業務拠点の整備」

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 公共公益施設の利用者数	人/年	①公共・公益施設の利用者数の増加	各種公共施設を集約した地域交流センターの利用者数の推移で確認する。	61,541	平成26年度	73,000	平成32年度
2. 地区内人口	人	②小杉地区の人口維持	生活に利用する社会資本を集約、整備したことによる効果を、地区内の人口推移で確認する。	8,380	平成27年度	8,380	平成32年度
3. 歴史文化施設利用者数	人/年	③散策エリア内における歴史文化施設利用者数の増加	新たに散策エリアを形成したことによる効果を、主要拠点である竹内源造記念館の利用者数の推移で確認する。	6,638	平成26年度	6,640	平成32年度

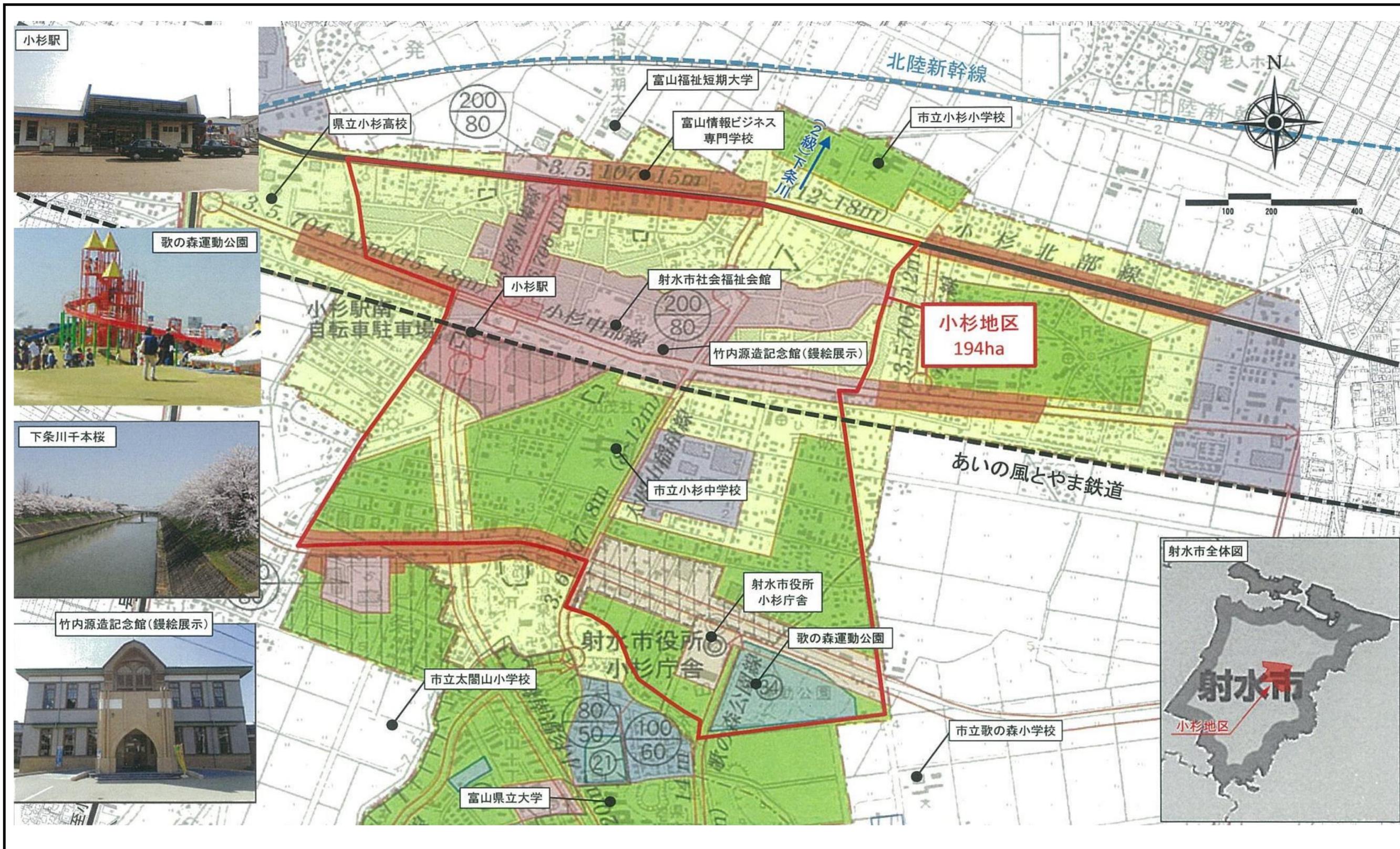
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(公共施設機能のコンパクト化) ・あいの風とやま鉄道小杉駅を中心としたエリアに公共・公益施設を集約し、地域住民の交流が図られる地域活性化の拠点とする。</p>	<p>■基幹事業 射水市地域交流センター【高次都市施設(地域交流センター)】 歴史と文化を巡る道【高質空間形成施設(緑化施設等)】</p> <p>■提案事業 事業効果分析等【事業活用調査】</p>
<p>整備方針2(生活利便性の向上) ・生活に利用する社会資本を整備し、生活利便性を向上させる。</p>	<p>■基幹事業 歌の森運動公園【公園】 中央図書館駐車場整備【地域生活基盤施設(駐車場)】 射水市地域交流センター【高次都市施設(地域交流センター)】 歴史と文化を巡る道【高質空間形成施設(緑化施設等)】</p>
<p>整備方針3(交流人口の拡大) ・新たに散策エリアを形成するために必要となる拠点を整備する。</p>	<p>■基幹事業 下条川千本桜ポケットパーク【地域生活基盤施設(広場)】 歴史と文化を巡る道【高質空間形成施設(緑化施設等)】</p> <p>■関連事業 歴史と文化が薫るまちづくり事業(H26～28)(射水市) (仮称)内川ー小杉観覧船事業(株)新湊観光船</p>
<p>その他</p> <p>《交付期間中の計画の管理について》 交付期間中において、各事業を円滑に進めて目標に向けた確実な効果を上げるために、庁舎内調整会議を開催する予定であり、関係各課が協力して事業の円滑な執行管理をおこなう。 また、取組みの検討結果や、本計画により実施される各種事業について、射水市の広報等を通じ広く市民にPRする。</p> <p>《事業終了後の継続的なまちづくり活動》 本事業により整備する施設の活用や、継続的なまちづくり活動とともに、※1「歴史と文化が薫るまちづくり事業(H26～28)」と連携し、観光客と地域住民の交流の活発化を図ることで、魅力ある地域づくりを実現していくものとする。</p> <p>※1「歴史と文化が薫るまちづくり事業」について 小杉地区の旧北陸道沿線にある歴史的・文化的な地域資源を活用し、観光振興や活性化を図る事業(県補助)。ハード事業として、小杉駅への鍍絵看板の設置、まちなかでの鍍絵看板、案内解説板の設置等を実施、ソフト事業では、「全国鍍絵サミットin射水」の開催、まち歩きコース・体験型観光の開発、観光情報等提供用アプリの開発を計画している。</p>	

都市再生整備計画の区域

こすぎ 小杉地区(富山県射水市)

面積 194 ha 区域 射水市三ヶ、戸破の各一部



小杉地区(富山県射水市) 整備方針概要図

目標	あいの風とやま鉄道小杉駅周辺におけるコンパクトで魅力あるまちづくりにより、多世代が住み続けられるとともに、地域資源を活かし来訪者を呼び込む。	代表的な指標	①公共公益施設の利用者数 (人/年)	61,541 (平成26年度) →	73,000 (平成32年度)
			②地区内人口 (人)	8,380 (平成27年度) →	8,380 (平成32年度)
			③歴史文化施設利用者数 (人/年)	6,638 (平成26年度) →	6,640 (平成32年度)

